

平成 29 年度活動報告書

法人の名称 特定非営利活動法人 I Love つづき

1. 事業活動方針

29 年度も事業目的「広く市民に対し、コミュニティや地域の環境に関しての情報を提供し、市民の参加を促し、健全なまちづくりのための活動を通して、地域の発展に寄与する」という活動趣旨に基づき、環境、防災、青少年育成、地域振興、福祉等の分野で幅広くまちづくりを行ってきました。

また、私たちが活動を通して知り合った多くの団体同士をつながられるようなコーディネートや、多くの市民がまちづくりへの関心を持ち、参加を促せるような場づくり、市民活動、地域活動の中間支援を、コミュニティカフェという場を活かして、行ってきました。

2. 事業内容

(1) 特定非営利活動に係る活動

①地域で生まれる商品、作品等を地域ブランドとして開発し販売を促進するための事業

横濱良品館ショップ販売事業

内容) 横濱良品館ショップ販売事業。障がいのある人たちの商品を扱う、ネットショップとシェアリーカフェ店内での販売。イベントや催事などにも出店もしました。シェアするアトリエ「シェアトリエ」というレンタルボックスギャラリーの運営も順調です。

場所) 横浜市都筑区が中心。ネットショップとしては全国展開。シェアトリエは当団体運営カフェの中。

実行期間) 2017 年 4 月～2018 年 3 月

従事者人員) 3 人

支出額 573,175 円

②地域が活性化していくための情報発信のサポート

内容) ウェブタウンの地域情報サイトの運営を行いました。

このサイトを拠点に地域情報化の支援を行っています。商店街、NPO等のデジタル支援を行いました。

場所) ウェブサイトのためとくに場所は限定しないが、都筑区が中心。

実行期間) 2017 年 4 月～2018 年 3 月

従事者人員) 2 人

支出額 216,351 円

③その他の地域支援活動事業

ア. シェアリーカフェの運営

内容) 地域コミュニティ拠点となる場の提供として、地域の人の活動をサポートしました。カフェを通して、人と人のつながりをつくっています。またコンシェルジュなども行いました。

大家さんである、ハウスクエア横浜より、地域のみなさまに楽しんでいただけるイベントの企画を依頼され、委託として多くのイベントを行いました。

場所) 横浜市都筑区中川

実行期間) 2017 年 4 月～2018 年 3 月

従事者人員) 10 人

イ. タウンセンター子育て地蔵まつり～キャンドルナイト

内容) センター北と南をつなぐ、「みなきたウォーク」のほぼ中央にある「子育て地蔵」。その周辺で「子育て地蔵まつり」を開催する実行委員会事務局として活動しました。会を重ねるごとにイベントが定着してきて、多くの参加者がありました。

場所) 横浜市都筑区 早瀬川周辺、みなきたウォーク

実行期間) 2017 年 6 月から準備 2017 年 9 月

ウ. その他、他団体の事業に共催

中川ルネッサンスプロジェクトへのイベント参加、中川ふれあいフェスタ(年 2 回)に出店しました。また早瀬川老馬谷戸ガーデンの整備にもかかりました。

コミュニティカフェネットワークに所属し、カフェ型中間支援を考えるフォーラムに参加、地域フォーラムは当団体が企画し、実施しました。

実行期間) 2017 年 4 月～2018 年 3 月従事者人員) 8 人

エ. 横浜産の野菜と小麦を使った商品開発プロジェクト「ヨコハマ小麦部」

内容) 当カフェで仕入れをしている福祉施設「都筑ハーベスト」が無農薬で小麦を作っていることを知り、それを活かしたブランドづくりのプロジェクト助成金をいただき、スタートした。活動に参加しているグループを「ヨコハマ小麦部」として、毎月、商品開発の勉強会や畑の見学やお手伝いなどを行ってきました。たくさんでた試作品の中より、まず小松菜を入れたクッキー「浜小菜はなこ」の販売を試行しています。

実行期間) 2017年6月～2018年3月

従事者人員) 5人

支出額 11,723,251円

④ その他、この法人の目的を達成するために必要な事業(定款5条-8)

当団体運営のカフェを含め、コミュニティカフェを活用する、どんな選択肢があるのか、その可能性について勉強する会を「つづきあい基金」をいただき、行いました。全国に広がるコミュニティカフェの現状やこどもカフェ、認知症カフェなどに詳しい講師を呼び、公開講座として、自分たち自身も勉強しました。

場所) 横浜市都筑区中川

実行期間) 2017年7月～2018年3月

従事者人員) 10人

支出額 6,118,232円(全体管理費含む)